

2009年3月期 決算説明会

2009年5月19日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

決算の概要(連結)

- 1) 当期の決算概要
- 2) 営業利益増減の要因分析
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) 財政状態
- 7) キャッシュフロー
- 8) 設備投資と研究開発費
- 9) 次期業績見通し
- 10) 次期業績見通しの要因分析
- 11) 株主還元策
- 12) 中期経営計画の進捗

1) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

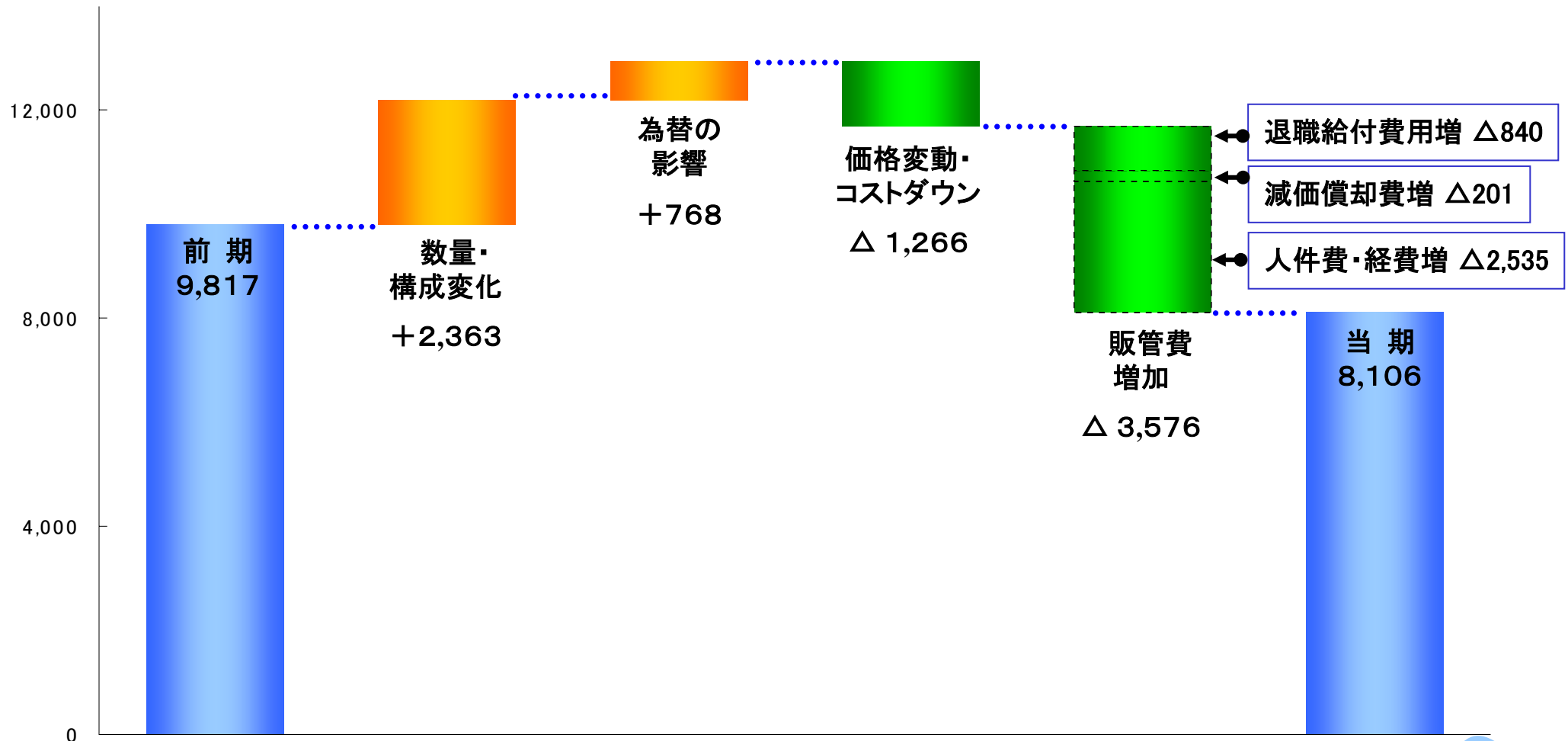
	前期 (2008/3)	当期 (2009/3)			対前期増減率 (%)
		期初予想	前回予想※	実績	
売上高	104,825	107,000	109,000	109,123	4.1
国内売上高	79,138	81,700	86,500	87,402	10.4
海外売上高	25,687	25,300	22,500	21,721	△ 15.4
営業利益	9,817	8,500	7,800	8,106	△ 17.4
経常利益	9,545	8,500	7,400	7,640	△ 20.0
当期純利益	5,631	5,200	4,500	4,610	△ 18.1

平均レート	(2008/3)	(2009/3)
1ドル	114円	101円
1ユーロ	161円	145円

※ 2/6第3四半期発表時公表の予想数値

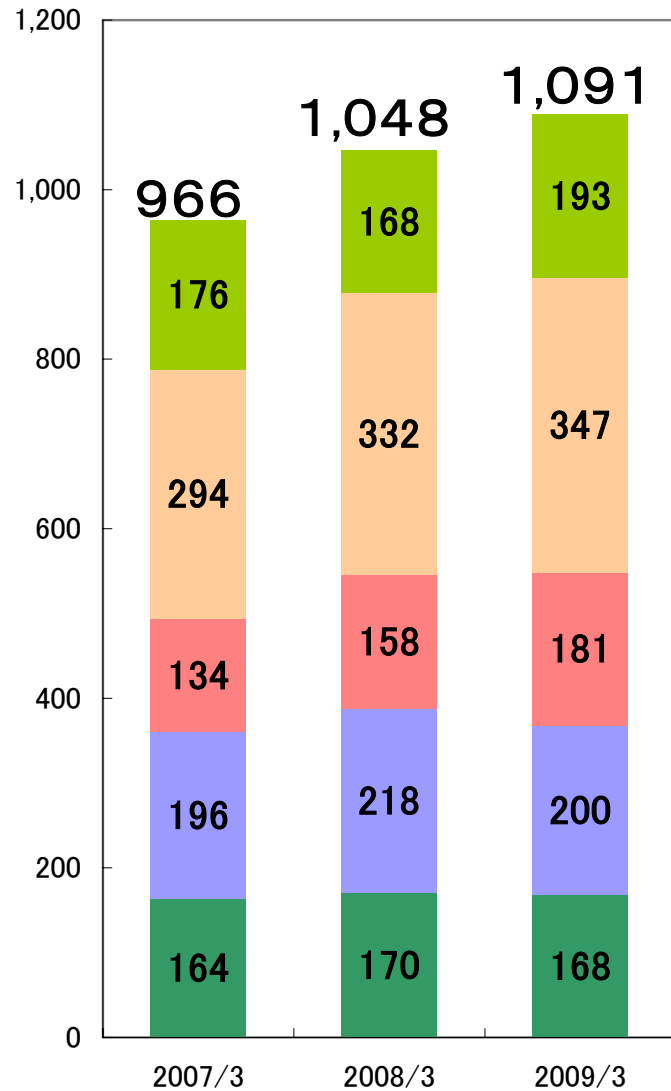
2) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)



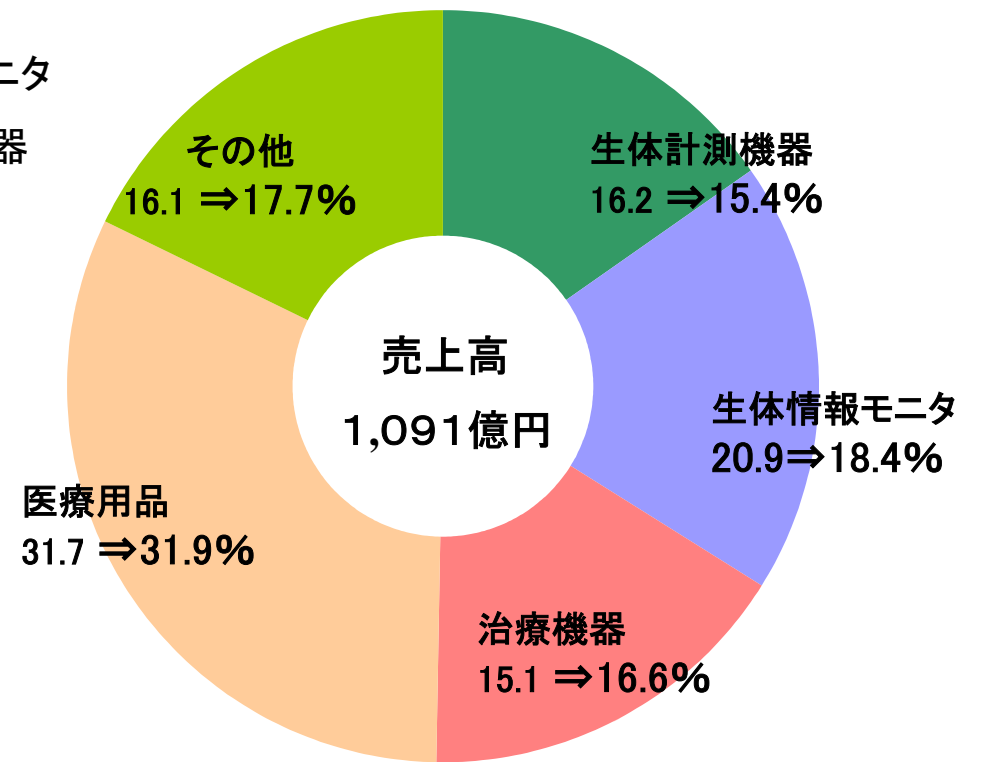
3) 商品群別売上高

(億円)



- その他
- 医療用品
- 治療機器
- 生体情報モニタ
- 生体計測機器

商品群別売上構成比
(2008/3⇒2009/3)



3.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期 (2008/3)	当期 (2009/3)	増減率(%)
脳神経系群	7,537	7,193	△ 4.6
心電計群	6,182	5,842	△ 5.5
ポリグラフ群	3,282	3,774	15.0
生体計測機器合計	17,001	16,811	△ 1.1
うち国内売上高	11,193	11,539	3.1
うち海外売上高	5,808	5,271	△ 9.2



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1400



ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前期 (2008/3)	当期 (2009/3)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	21,882	20,039	△ 8.4
うち国内売上高	12,031	12,291	2.2
うち海外売上高	9,850	7,748	△ 21.3



WEP-5200
シリーズ



BSM-6000
シリーズ



セントラルモニタ CNS-9601

3.3-1) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 (2008/3)	当期 (2009/3)	増減率(%)
除細動器	9,567	11,434	19.5
ペースメーカー	3,367	3,356	△ 0.3
人工呼吸器	1,724	1,809	4.9
その他治療器	1,204	1,506	25.1
治療機器合計	15,862	18,106	14.1
うち国内売上高	13,305	15,520	16.6
うち海外売上高	2,556	2,586	1.1



除細動器 TEC-2500

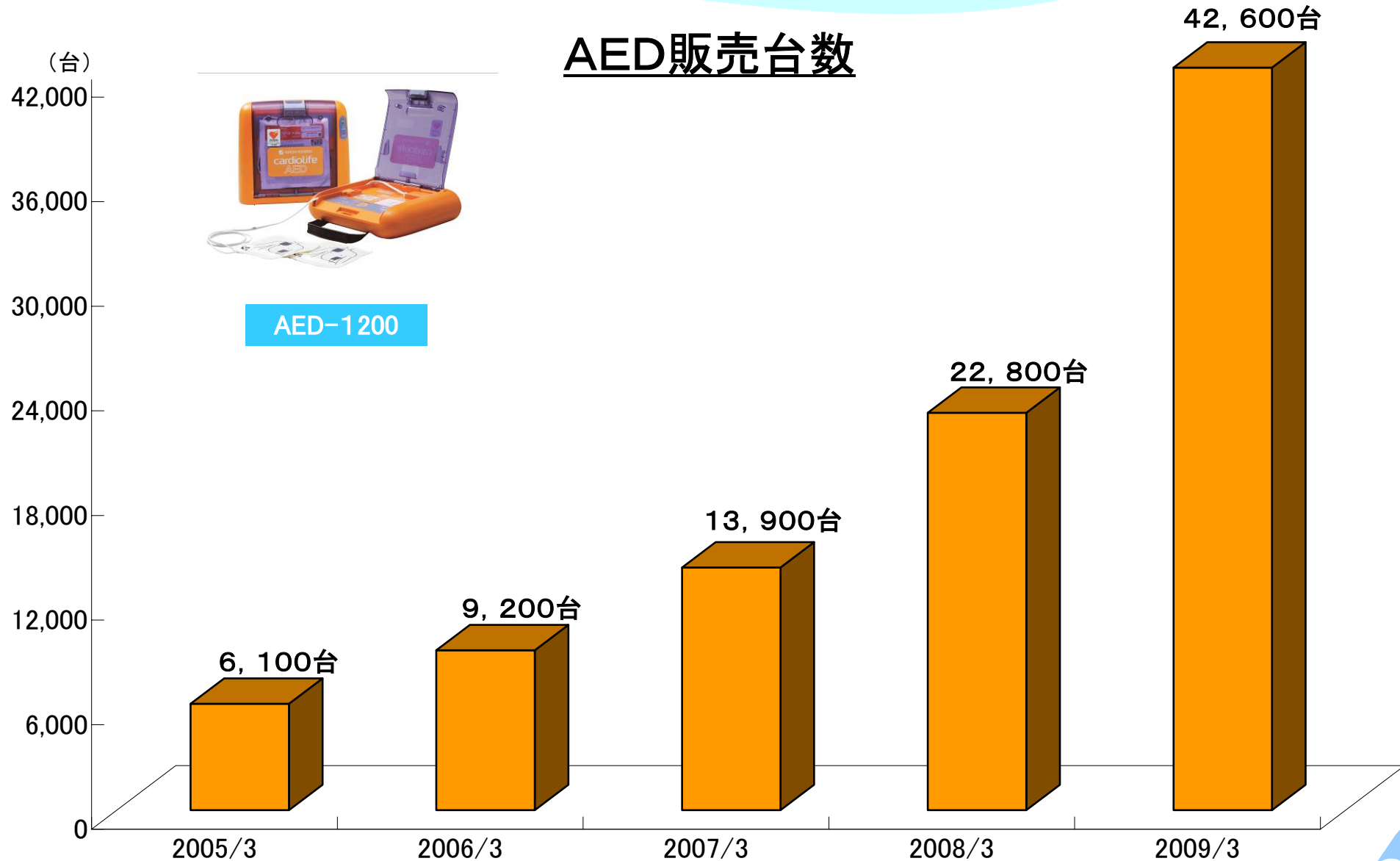


心臓ペースメーカー Kiklos DR



人工呼吸器 ラファエル カラー

3.3-2) AEDの販売実績



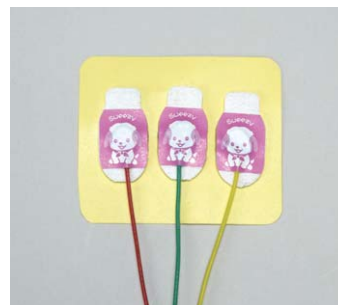
3.4) 医療用品

(単位: 百万円)

	前期 (2008/3)	当期 (2009/3)	増減率(%)
消 耗 品	26,912	27,764	3.2
修 理 ・ 保 守 他	6,305	7,034	11.6
医 療 用 品 合 計	33,217	34,798	4.8
うち国内売上高	27,751	30,274	9.1
うち海外売上高	5,466	4,524	△ 17.2



フィンガープローブ TL-201T



デイスホ電極 N-03IS3



AED用使い捨てパッド
P-590

3.5) その他

(単位:百万円)

	前期 (2008/3)	当期 (2009/3)	増減率 (%)
検体検査装置	3,934	4,101	4.3
医用システム、トランス、 画像診断装置他	12,927	15,266	18.1
その他合計	16,861	19,367	14.9
うち国内売上高	14,856	17,776	19.7
うち海外売上高	2,005	1,591	△ 20.7



全自動血球計数器 MEK-6400

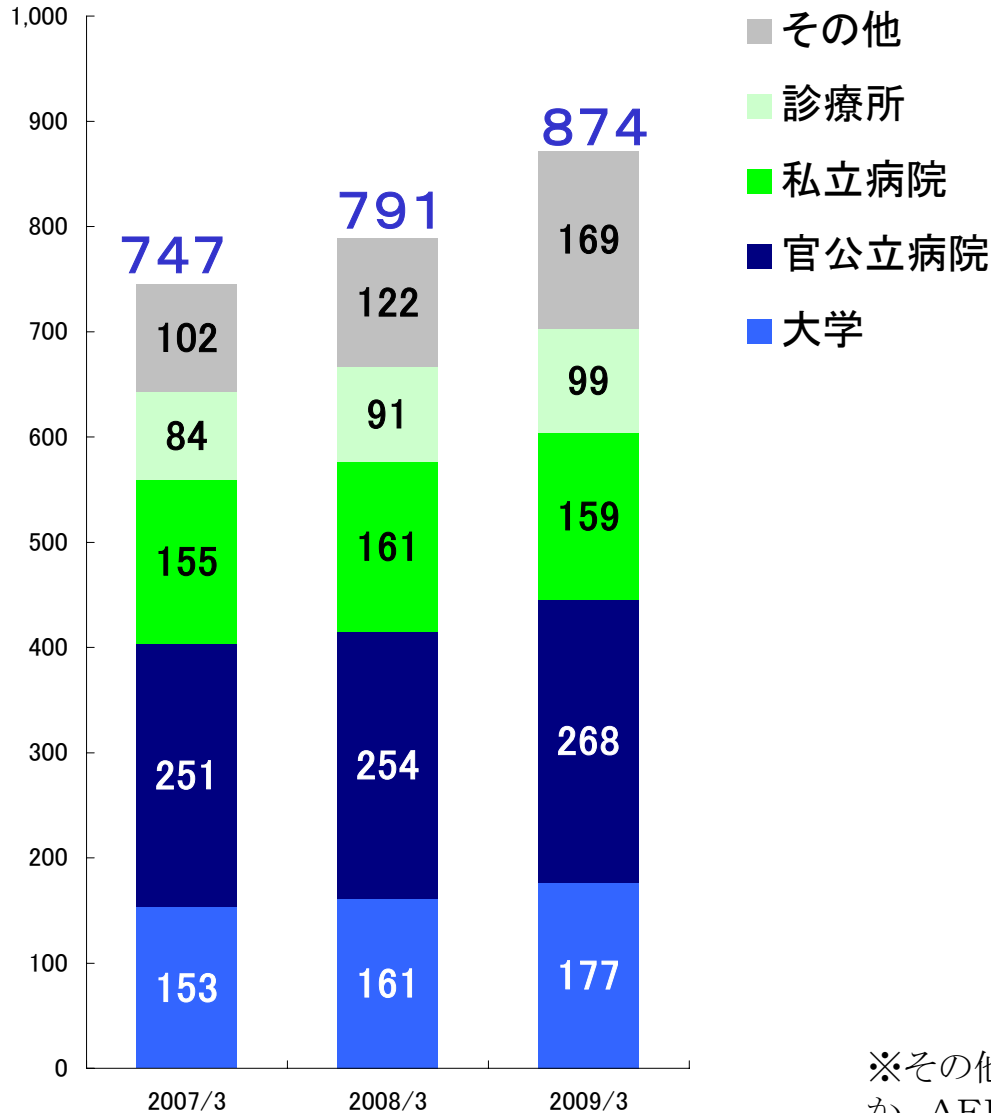


診療支援システム Prime park

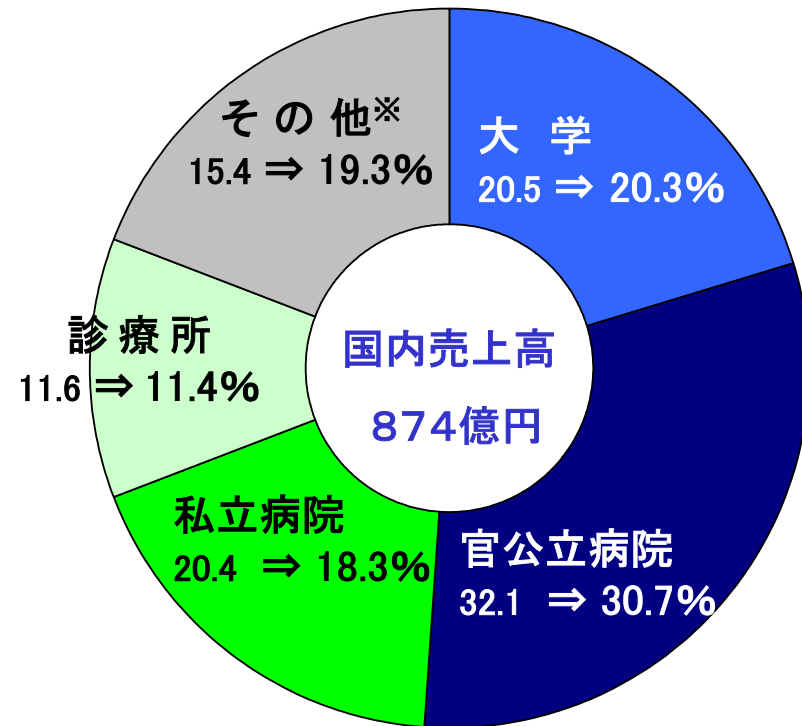
4) 国内売上高

(億円)

【市場別売上高】



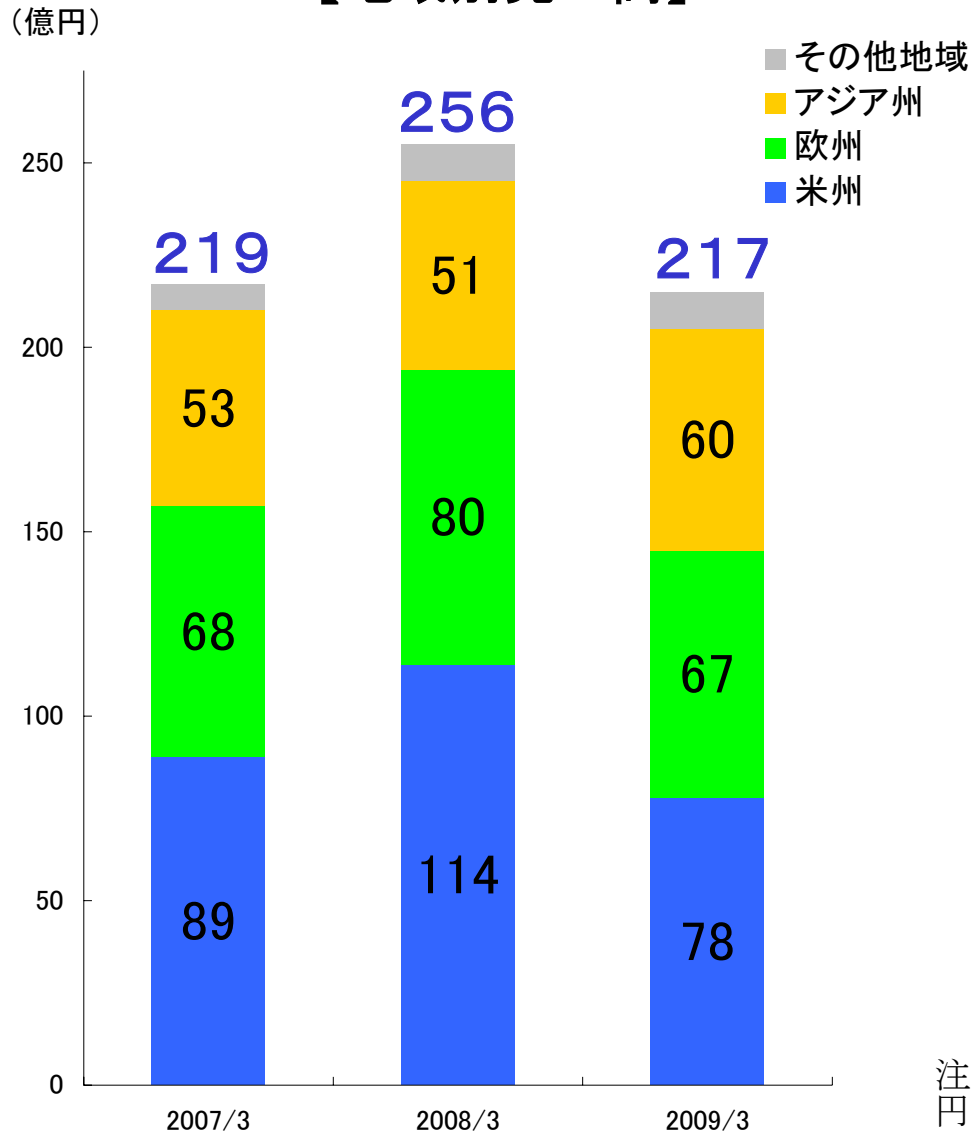
市場別売上構成比 (2008/3⇒2009/3)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

【地域別売上高】

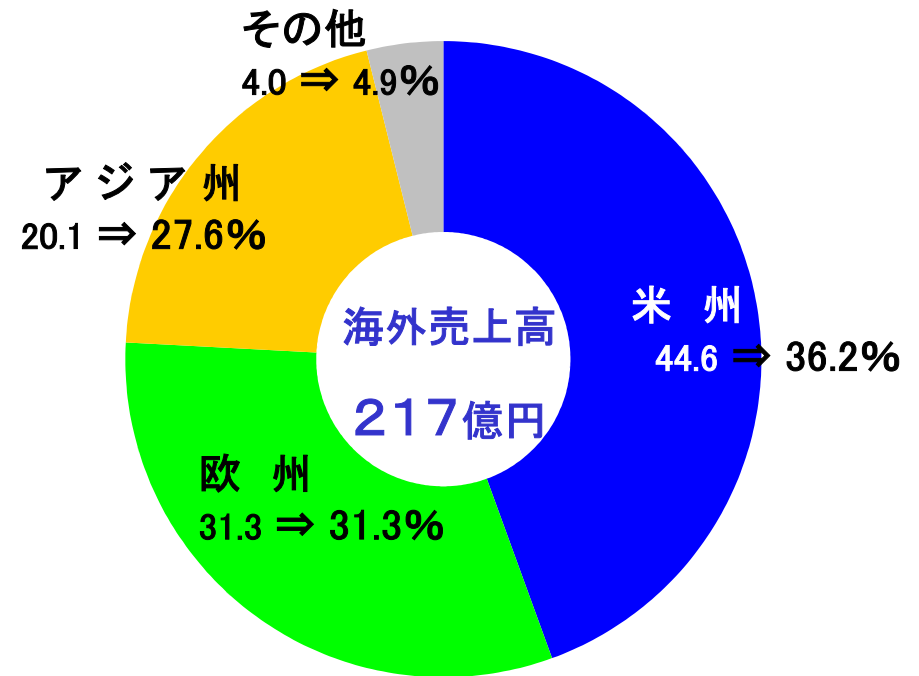


海外売上高比率

2007/3	2008/3	2009/3
22.7%	24.5%	19.9%

地域別構成比

(2008/3⇒2009/3)



注) 2007/3期米州に約14億円、2008/3期米州に約22億円の中南米での大口商談が含まれています。

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 (2008/3)	当期末 (2009/3)	増減額
流動資産	63,718	61,470	△ 2,247
固定資産	16,911	19,008	2,097
資産合計	80,630	80,479	△ 150
流動負債	28,242	26,277	△ 1,964
固定負債	573	631	58
負債合計	28,815	26,909	△ 1,906
純資産	51,814	53,569	1,755
負債純資産合計	80,630	80,479	△ 150

← 譲渡性預金: △30億円 (B/S 25億円)

← 有形固定資産: + 7億円 (B/S 103億円)
無形固定資産: +18億円 (B/S 30億円)

← 支払手形・買掛金: △19億円 (B/S 160億円)

7) キャッシュフロー

(単位:百万円)

	前期末 (2008/3)	当期末 (2009/3)	増減額
I 営業CF	8,621	4,123	△ 4,498
II 投資CF	△ 2,857	△ 5,968	△ 3,110
FCF	5,764	△ 1,844	△ 7,608
III 財務CF	△ 2,887	△ 601	2,285
換算差額	△ 106	△ 152	△ 46
増減額	2,769	△ 2,599	△ 5,369
期末残高	13,797	11,197	△ 2,599

	(08/3)	(09/3)	増減
税前利益	9,639	7,693	△1,945
仕入債務の増減額	1,894	△2,021	△3,915

有形固定資産の取得	△1,787	△3,524	△1,737
無形固定資産の取得	△537	△1,205	△ 668

- ・富岡工場増設
- ・ERPシステム導入

短期借入金の純増減額	△1,089	1,175	2,265
------------	--------	-------	-------

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 (2008/3)	当期 (2009/3)		増減額 (年度比較)	2010/3 計画
		計画	実績		
設備投資額	2,658	4,400	4,645	1,987	5,000
減価償却費	2,106	2,700	2,726	620	3,100
研究開発費	4,662	5,000	4,656	△ 6	4,700

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器、販促用製品 他
富岡試薬工場建設 / 富岡第二工場増設
ERPシステム導入

●次期計画

主な設備投資:新製品の「型」投資、販促用製品、ERPシステム導入
研究開発費は維持

22億円

9) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	前期実績 (2008/3)	当期実績 (2009/3)	次期予想 (2010/3)	増減率(%)
売上高	104,825	109,123	107,000	△ 1.9
国内売上高	79,138	87,402	87,500	0.1
海外売上高	25,687	21,721	19,500	△ 10.2
営業利益	9,817	8,106	6,000	△ 26.0
経常利益	9,545	7,640	6,000	△ 21.5
当期純利益	5,631	4,610	3,700	△ 19.8

海外売上高比率

24.5%

19.9%

18.2%

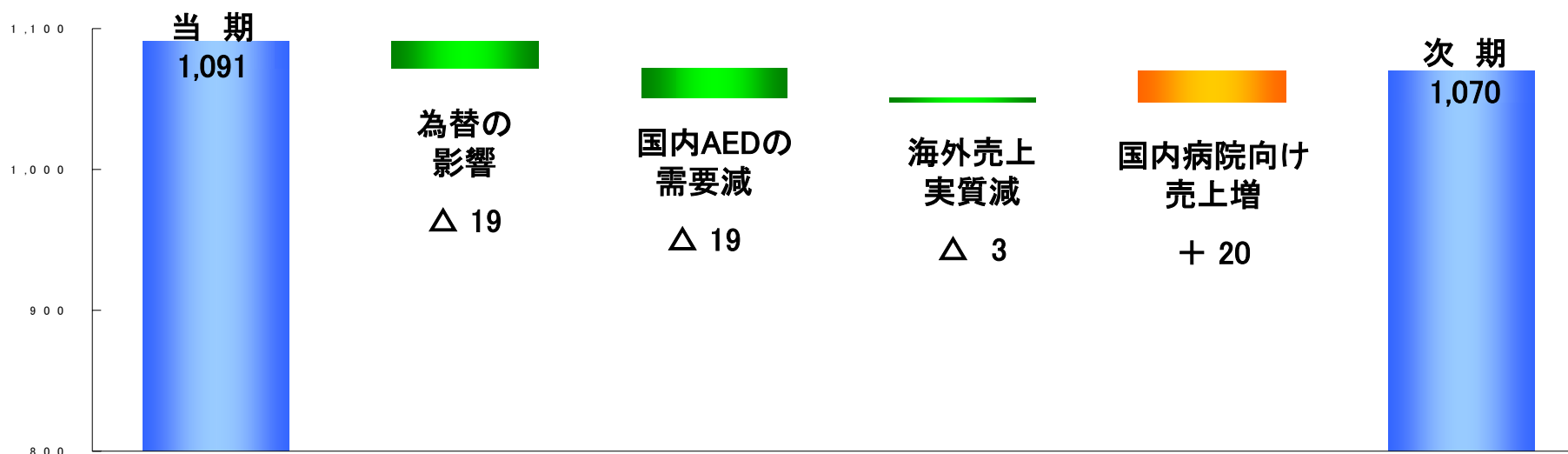
平均レート

1ドル	114円	101円	90円
1ユーロ	161円	145円	120円

10) 次期業績見通しの要因分析

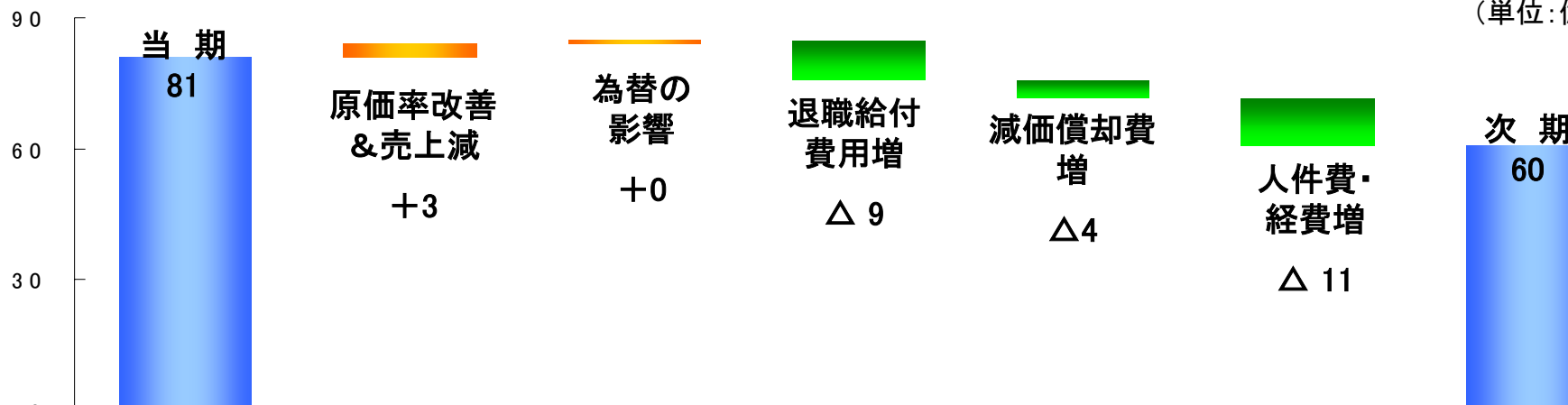
【売上高】

(単位:億円)



【営業利益】

(単位:億円)



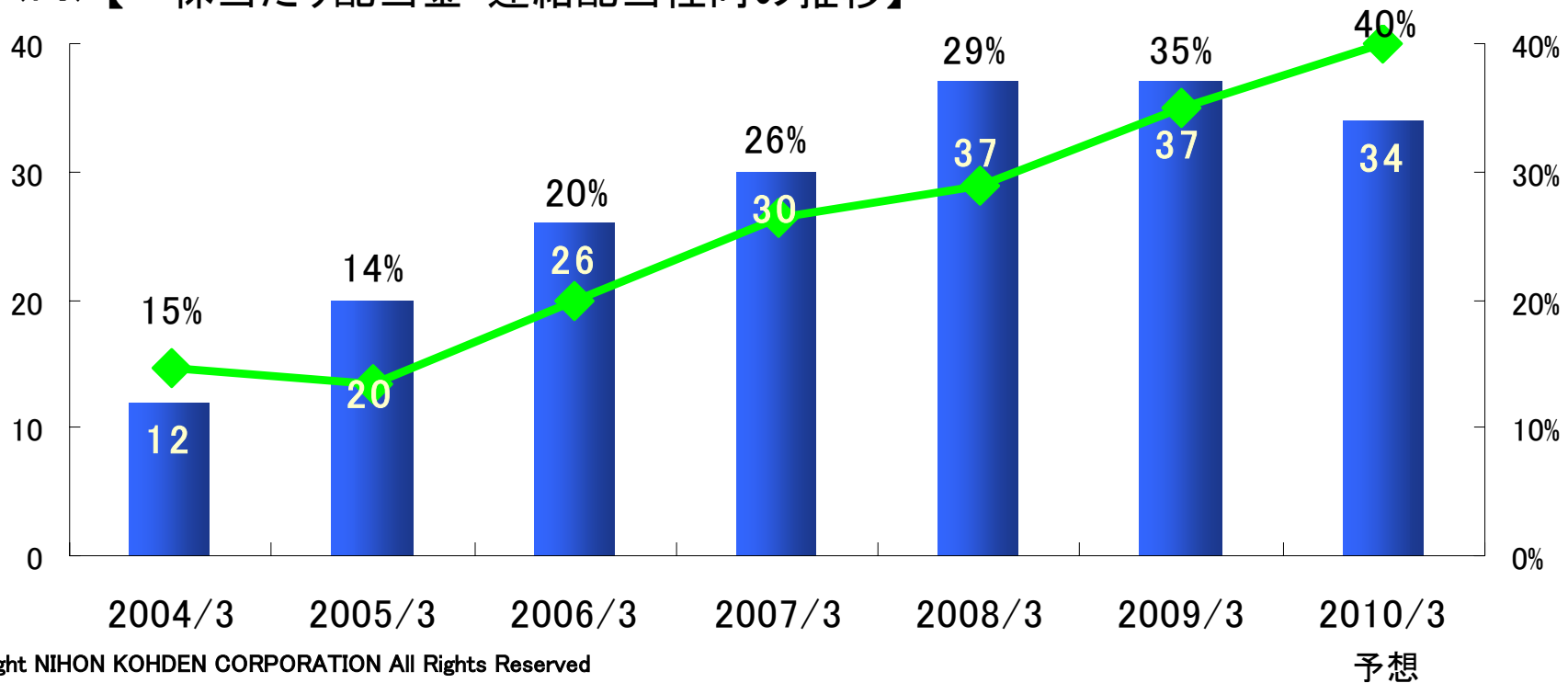
11) 株主還元策

【基本方針】

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、長期にわたって安定的な配当を継続

当面の目安：連結配当性向30%

(円) 【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



12) 中期経営計画の進捗①

(億円)	2009/3 実績	2010/3 中期経営目標値	2010/3 計画	差
売上高	1,091	1,130	1,070	△60
国内売上高	874	825	875	+50
海外売上高	217	※ 305	195	△110

- ・急性期病院市場でのシェアアップ
- ・円高による換算目減り
- ・世界的な景気後退の影響

※中期経営目標値「海外売上比率27%」を売上高で表示

営業利益	81	102	60	△42
ROE	8.8%	12.0%	—	
在庫回転率	※ 7.4回	7.4回	—	

- ・売上高・粗利益計画未達
- ・株式市場低迷による退職給付費用増

※売上高÷在庫高(6・9・12・3月末平均)で表示

	中計策定時(2007/3)	2010/3計画
平均レート	1ドル 116円 1ユーロ 149円	1ドル 90円 1ユーロ 120円
日経平均	(2007/3末) 17,287円	(2009/3末) 8,109円

12) 中期経営計画の進捗②

経営理念

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営ビジョン

医用電子機器メーカーとしてのグローバルブランドの確立

2012年度を目途とした長期経営目標


急激な経営環境の悪化

今後の経済情勢を慎重に見極めた上で、2010年度スタートの新中期経営計画の策定と合わせ、再検討

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	前期実績 (2008/3)	当期実績 (2009/3)	次期予想 (2010/3)	増減率(%)
生体計測機器	17,001	16,811	16,700	△ 0.7
生体情報モニタ	21,882	20,039	19,900	△ 0.7
治療機器	15,862	18,106	16,400	△ 9.4
医療用品	33,217	34,798	36,200	4.0
その他	16,861	19,367	17,800	△ 8.1
売上高合計	104,825	109,123	107,000	△ 1.9

The background is a clear blue sky with scattered white clouds. A bright green, curved swoosh graphic starts from the bottom left and points towards the top right, framing the text.

**経営環境の変化を
踏まえた対応**

1) 急速に変化する経営環境

世界的な景気後退が医療機器市場にも波及

- 【海外】
 - ・米国の病院で医療機器購入見送りの動き
 - ・ロシアや一部の国で医療機器の需要が縮小
- 【国内】
 - ・病院市場への影響は限定的
 - ・PAD市場でAED販売が鈍化

新たな医療制度改革の動き

- 【海外】
 - ・中国政府は医療衛生体制改革で8,500億元拠出を決定
 - ・米オバマ政権は医療制度改革を重要課題と位置づけ
- 【国内】
 - ・救急医療・周産期医療体制整備に予算

2) 経営環境の変化を踏まえた対応

I. SPEED UP II の基本戦略を推進

II. 追加策として、「収益改善策」「コロンブス・コミッティ」を立ち上げ

- 収益改善策: 短期の緊急対策プログラム
- コロンブス・コミッティ: グローバル事業の推進強化



3) SPEED UP II の基本戦略を推進

技術開発戦略

医療安全・業務効率の改善に寄与する
高付加価値商品をタイムリーに提供

商品戦略

自社の強みを生かせる分野への注力

The CHANGE!!

4) 医療安全に寄与する商品の提供

医療機関では医療安全・医療事故防止が急務

「医療アラーム聞き逃し事故多発」
「医療の安全 道半ば」
(最近の新聞報道より)

不整脈解析精度の向上



不整脈検出率の向上と“**鳴り過ぎない**”アラームを実現

電極のズレや外来雑音の混入などによる誤アラームを大幅に低減

当社独自のCO2センサ



2009年5月発売
予定

世界最小最軽量
メインストリーム方式
CO2センサ

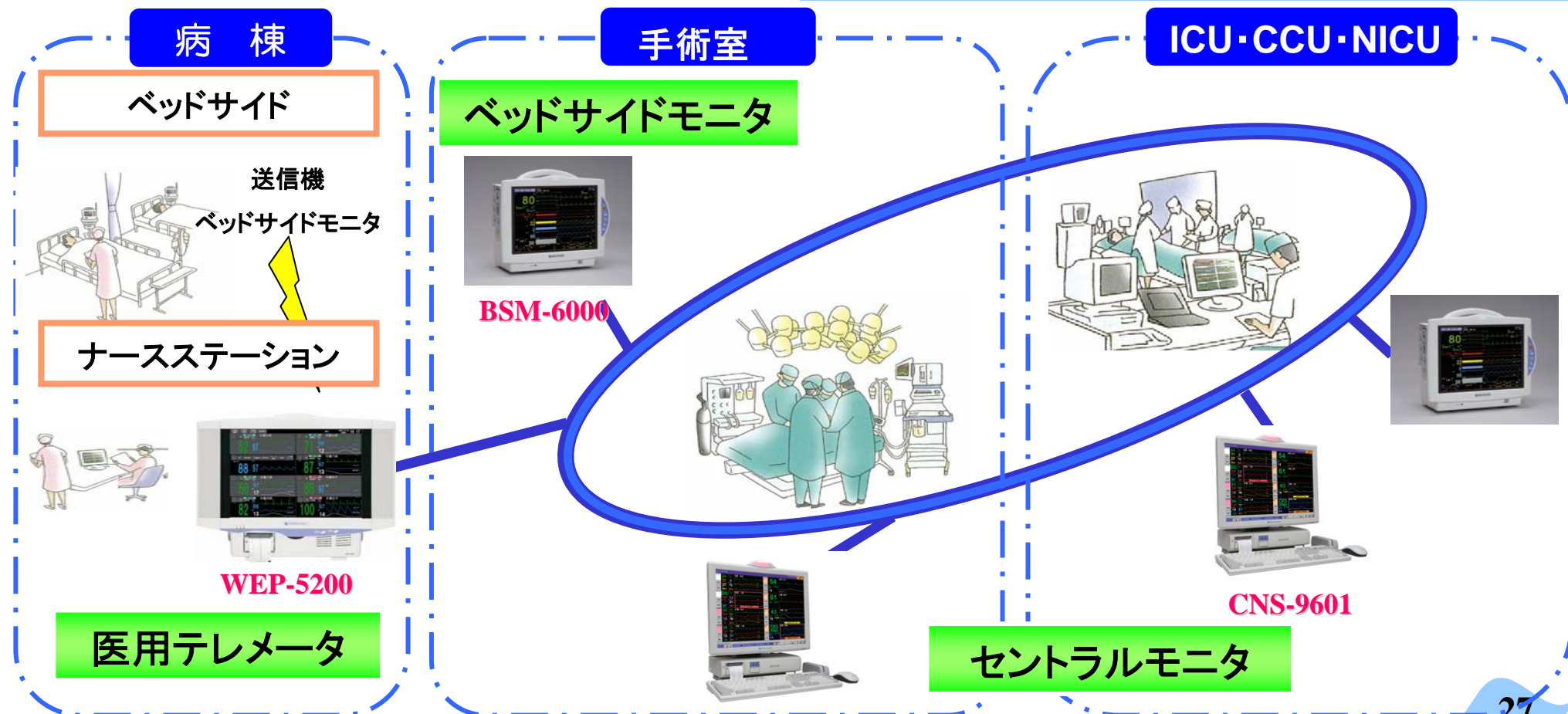
CO2は呼吸の異常をいち早くキャッチ



5.1) 自社の強みを生かせる分野への注力

生体情報モニタ事業の拡大

- ・(国内外) 2008年発売商品の拡販
- ・(国内外) 新商品モニタの投入
- ・(国内) 周産期市場への深耕



5.2) 自社の強みを生かせる分野への注力

AED事業の強化

国産初のAED
発売(上半期中)



AED-2100

市場のニーズに合った新機能搭載

- ◆パッドの使用期限をアラームでお知らせ
- ◆成人⇔小児は、本体のスイッチで切替
- ◆Bluetooth搭載(救助データが通信可能に)

AED普及と認知
に向けた活動

- ・東京マラソン等のサポート
- ・全国で講習会実施
- ・AED広告解禁

自社製AEDの
海外展開

韓国での販売展開



ランナー1名が当社のAEDで救命

5.3) 自社の強みを生かせる分野への注力

システムソリューション事業の拡大

医用画像情報システムの韓国最大手INFINITTとOEM導入契約

今回

診療所

中小病院

大病院

システム

統合画像情報システム
Dioram

(OEM+自社心電
図検査システム)

生理検査システム

将来

診療所

中小病院

大病院

画像システム

統合型
部門システム

医療機器

日本光電製



心電計



ホルタ心電計



脳波計



ポリグラフ



超音波診断装置

6) 収益改善策

短期の緊急対策プログラム

効果: 10億円

粗利率の改善

- ・コストダウンの加速
- ・(国内) 自社商品販売の推進
- ・在庫削減の徹底
- ・システム開発の内製化

販管費の抑制

- ・人件費の抑制: 定時退社日を週1日→週2日
- ・全社的な経費削減活動の推進
- ・海外販売子会社の人員体制の見直し

7) コロンブス・コミッティ グローバル事業の推進強化

急激な世界経済の悪化に早急に対応
グローバルカンパニーとしての体制・体質強化

コロンブス・コミッティの立ち上げ

5つのテーマ

- ① 全社的な意識改革の推進 – 「グローバル人財」「自律型人財」の育成
- ② 革新的医療機器の開発・供給 – 例) 低侵襲・非侵襲の検査・治療機器
- ③ 米国の開発体制強化と事業の拡大
- ④ 中国事業・生産体制の強化
- ⑤ グローバルでのランニング事業の推進

【対象】医療安全分野、糖尿病・循環器疾患分野、脳神経疾患分野、高齢者特有の疾患分野

The CHANGE!!

8) 米国の開発体制強化と事業の拡大

開発体制の強化

- ・2開発拠点との連携強化
- ・拠点病院、大学との産学連携推進

事業の拡大

- ・Prefenseによる新市場の開拓
- ・SAS※在宅検査市場への参入
- ・商品群・販路の拡大

※Sleep Apnea Syndrome 睡眠時無呼吸症候群

日本光電アメリカ

NKUSラボ

Prefense等生体情報モニタ
のソフト開発

2008年12月買収
ニューロトロンクス

睡眠脳波解析のソフト開発

9) 中国事業・生産体制の強化

上海光電への生産移管の促進、コストダウンの推進

中国市場向け
ローエンド心電計
中心

・血球計数器 ・除細動器
・心電計 ・生体情報モニタ

中国拠点でのグローバル市場向け普及機の開発・生産

開発
メディネット光電

生産
上海光電



この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003